



発行者: 社会福祉法人じねんじょ
発行日: 令和3年10月1日
TEL: 083-252-2227
FAX: 083-252-2259
E-mail: jinenjo@jinenjo.or.jp
http://www.jinenjo.or.jp

大地

(じねんじょ通信)

VOL.
36
2021/10

新たな体制 これからの役割

「あらためて みなさん ありがとうございます!」



重症心身障害者地域生活支援センター センター長 石塚 忠志

令和3年5月1日に新しい事業を開始しました。事業所の名称は、「生活介護サービス事業所だいいち」(18歳以上の方が通所利用)といえます。多くの方のご寄付やご支援のお陰で、事業をスタートさせることが出来ました。あらためてお礼を申し上げます。

さて、令和3年6月18日に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」(以下、「医ケア児支援法」)が公布され、令和3年9月18日から施行されることとなりました。医ケア児支援法は、医療的ケア児の健全やかな成長を図るとともに、その家族の離職の防止に資し、もって安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与することを目的としています。

そして、国や自治体による支援を、これまでの「努力義務」から「責務」として明らかにするとともに必要な対応を求めています。「医ケア児支援法」は理念法ですが施行に伴い、医療的ケア児を取り巻く環境が変わってきます。個々の医療的ケア児の状況に応じ、切れ目なく、適切な配慮のもとに柔軟な運営がされることを願っています。

社会福祉法人として、この法律の基本理念を理解し、本人の成長、家族が抱える課題などに寄り添い、対応できる体制の整備をすること。そして、成人期へ達した後も安心して適切な保健医療及び福祉サービスを受けながら、本人が日常生活及び社会生活を営むことができるように支援していきたいと思っていますので、これからも応援をよろしくお願いいたします。

みんな
つながって
いる



社会福祉法人じねんじょ 事業内容

	幼児期	学 齢 期	成 人 期(18歳以上)	高 齢 期
・(重心型) 児童発達支援事業 (多機能型) 居宅訪問型児童発達支援事業	 むくっこ 定員5名			
・(重心型) 放課後等デイサービス事業		 むく 定員5名		定員20名
・生活介護事業 (日中通所サービス)			 生活介護サービス事業所じねんじょ 定員20名	生活介護サービス事業所だいいち
・居宅介護等事業 (重度訪問) (移動支援) (同行支援)		 ヘルパーステーションふわり		
・相談支援事業 (障害児相談支援事業) (指定特定相談支援事業) ※医療的ケア児等コーディネーター配置				相談支援事業所じねんじょ
ライフステージを通じた支援				
ライフステージの変化に対応した支援 医療、教育、福祉、地域社会などと連携のある施設づくり				
地域で共に生きる				

令和3年5月より、定員30名の生活介護サービス事業所「じねんじょ」が、定員20名の2つの生活介護サービス事業所「じねんじょ」「だいち」になりました。これを機に、メンバーの好みや興味関心を第一優先にグループの編成を行いました。「じねんじょ」には【手芸】【スポーツ】【地域交流】、「だいち」には【陶芸】【喫茶】の活動グループがあり、日々の活動を展開しています。それぞれの活動グループの取り組みをご紹介します。

陶芸グループ

だいち

地域行事や、じねんじょのイベントで販売する、お皿やコップ、置物などの作品をつくっています。道具を使って粘土を伸ばす、型抜きをする他、直接粘土の感触を楽しむ事を目的としているメンバーもいます。年2回、窯入れを行い、作品を

焼いています。

これまで長年作り続けてきたものに加え、アンケート調査を行い、新しいモノづくりにもチャレンジしています。作る工程や出来上がりを楽しみに、陶芸メンバー・職員一同、日々研究しながら活動に取り組んでいます。



喫茶グループ

だいち

月に1回、定期的にオープンするJマルシェ(カフェ&マーケット&イベント)において、地域の方にくつろいでいただける「カフェ」の運営を担い、主にはカフェの空間づくり、ドリンク作り、接客を行っています。

一人ひとりの特性に応じてさまざまなスイッチを活用し、スイッチを使ってコーヒー豆を挽く、「いらっしゃいませ」の声を吹き込んだスイッチを使って接客するなど、メンバーの得意なこと、好きなことを活かした役割を持ちながら、活動の中で達成感や充実感を感じられる工夫を行っています。

コロナが落ち着き、地域の皆さまに来ていただける日を心待ちにしています。



Jマルシェ

新規建物の設計の段階で、「地域の方との交流の場」、「気軽に立ち寄ってもらえる場を作りたい」という構想がありました。その思いを形にするために、オープンスペースを活用し、Jマルシェを開催することにしました。

JマルシェのJはじねんじょのJで、お茶を飲みくつろげる喫茶、メンバーの手作りの手芸・陶芸作品の販売、展示、スポーツやパステルの体験などを複合したイベントの総称です。生活介護全体で企画運営し、月に1回、1週間定期的で開催しています。コロナ禍で地域の皆様をお招きすることはできませんが、メンバーや職員、ご家族にお客さんになっていただき、プレオープンしています。



手芸グループ

じねんじょ

新しい班での活動がスタートしました。手芸グループでは開発アイデア班、生産班、エコ班の活動に分け、日々の活動に取り組んでいます。開発アイデア班では、どんな商品が使いやすいかを考えています。生産班では、ミシンを主に使い、メンバーに合わせてペダルを押しやすい位置で、声掛けに合わせて一緒に押し、ミシンの音を聴いて縫っている感覚



10月には第2回「Jカップ」を計画しており、じねんじょ全体を前回以上に盛り上げる大会にしようと意気込んでいます。



スポーツグループ

じねんじょ

スポーツグループはスポーツに参加するアスリート班、スポーツ観戦、応援を行うチア班、メンバーが楽しめるようなレクリエーションを探す調査、チャレンジ班として日々活動しています。6月にスポーツグループ主催のじねんじょ内ポッチャ大会第1回「Jカップ」を開催しました。メンバーも大会に参加、スポーツグループは優勝を逃しましたがどの試合も非常に盛り上がり、自作した応援うちわやペットボトルマラカスを振って応援も行いました。振り返りでは「次は優勝したい」という言葉もあり満足できる大会だったと思います。

地域交流グループ

じねんじょ

以前より、地域とのつながりを意識して活動していたので、その強みを生かせるグループ編成になっています。人との関りが好き、得意なメンバーと一緒に施設間交流をしてきましたが、ここ最近ではコロナ禍という事もあり満足に行えていません。情勢が落ち着けばすぐにでも再開したいと思っています。

今年度始まってまず力を入れているのは、毎月開催される

Jマルシェのチラシやチケット、ポイントカードなどの制作です。「依頼書」と「納品書」という形で、いつまでに何を準備するのかを確認しながら、丁寧に、楽しみながら準備をしています。接客といった目立つ仕事ではありませんが、まず手にしていただくチラシやチケットなど、手作り感たっぷりの作品にも注目していただきたいです。

ぜひJマルシェに来ていただき、メンバーそれぞれの“おもてなし”を感じていただければと思います。



児童発達支援 むくっこ

この夏のむくっこの活動をご紹介します。

外出ができず限られたなかでの活動。子どもたちは、少しのことで楽しみや笑いをみつけ、私たち大人は素直な感性にこころを打たれました。生まれて初めての小さな生命との対面、両親への感謝の気持ちをこめたプレゼント。成人の方々の事業所での夏祭りで食べたかき氷。ボードの画面が次々変化する様子を興味津々に見つめ、最高の笑顔を見せてくれたパネルシアター!どれもこころを躍らせていました。

これからも子どもたちが生き生きワクワクする楽しい活動を見つけて行きます。

かき氷
おいしい!



バナナが
何に〜☆



氷
冷たい!



両親へ
感謝を込めて



“う〜ん”
かっ!かえる?!



放課後等デイサービス むく

足でけて
遊んだヨ!!



キャ〜
プールの最高

プールあそび



むくの夏の活動紹介です☆
ドキドキ!わくわく!な企画がいっぱい!!
たくさん感じて、たくさん笑顔になったよ!

わお!!キレイ
お星さまが
いっぱい



プラネタリウム

さわってみたヨ!!
きもちい〜



泡あわおぼけ〜



じねんじょ看護部 「笑いと免疫」

おなかの底から笑うと、心も体も元気になった気がしませんか？
笑うと免疫力が高まるだけでなく、ほかにも体にさまざまな
良い効果をもたらすことが分かっています。

①脳の働きが活性化

脳の海馬は新しいことを学習するときに働く器官。笑うと
活性化されて記憶力がアップします。また笑いによって脳
波の中でもアルファ波が増えて脳がリラックスするほか意
思や理性をつかさどる大脳新皮質に流れる血液量が増
加するため脳の働きが活発になります。

②血行促進

思いきり笑った時の呼吸は深呼吸や腹式呼吸と同じような
状態。体内に酸素がたくさん取り込まれるため、血のめぐ
りが良くなって新陳代謝も活発になります。

③自律神経のバランスが整う

自律神経には体を緊張モードにする交感神経とリラックス
モードにする副交感神経があり、両者のバランスが崩れる
と体調不良の原因となります。通常起きている間は交感神
経が優位になっていますが笑うと交感神経が促進し、その

後急激に低下することによりリラックス効果をもたらすの
で交感神経とのスイッチが頻繁に切り替わることになり自
律神経のバランスが整います。

④筋力アップ

笑っているときは心拍数や血圧が上がり、呼吸が活発と
なって酸素の消費量も増えます。静かに過ごすより笑って
いる方がカロリーの消費量が多くなり、さらに大笑いする
とおなかや頬が痛くなるように腹筋、横隔膜、肋間筋、顔
の表情筋などをよく動かすので多少ながら筋力を鍛える
ことにもなります。

「“笑い”がもたらす健康効果 | カンタン健康生活習慣 | サワイ健康推進課」
(sawai.co.jp)参照

そこで皆さんにお勧めしたいのが絵本作家のヨシタケ
シンスケさんです。妄想を交えた
ちよっぴりおかしい発想と癒し感
たっぷりの絵が、子どもだけでなく
大人も「クセになる」と話題。どの作
品も手にとって読んでほしいもの
ばかりです。ネットなどでちよっと探
してみられてはいかがでしょうか。



じねんじょ栄養部 「じねんじょの給食紹介」

じねんじょでの給食は安全、安心に食事を楽しんでいただ
けることを第一にしています。それと同時に月ごとに季節の
メニューも入れています。給食には変わったメニューもあり、
今回はハンバーグを紹介したいと思います。通常の合いびき
で作るハンバーグも提供していますが、鶏とキャベツのハン
バーグ、大豆ハンバーグ、豆腐ハンバーグ、あじのハンバー
グといった変わり種のハンバーグも提供しています。

その中でも今回は**鶏とキャベツのハンバーグ**を紹介しま
す。よかったら作ってみてください。

●材料(1人分)

鶏ひき肉…40g 絹ごし豆腐…15g 玉ねぎ…5g
パン粉…7g 塩・こしょう…少々 片栗粉…0.5g
＜ソース＞ マヨネーズ…5g 牛乳…10g
みりん…1g ブイヨン…0.3g

- ①玉ねぎはみじん切りにする。キャベツは茹でてみじん切りにする。豆腐は水気を切っておく。
- ②鶏ひき肉をボールにいれ、①の玉ねぎ、キャベツ、豆腐を入れる。パン粉、塩・こしょう、片栗粉も入れたらこねる。好みの大きさに形を整えて焼く。
- ③ソースの材料を鍋に入れ、火にかける。焼いたハンバーグの上にかけて出来上がり。

*やわらか食では、肉の量35g
に減らして豆腐の量を20gに増
やし、蒸してから焼いています。

*嚥下食では普通食をミキサー
にかけ、全体量の2%のスベラ
カーゼを入れています。



寄付者氏名

令和3年8月20日現在（順不同、敬称略）

かねはら小児科職員一同・金子善司・理事・前田誠一郎・梶間やよひ・百名洋平・わかさまさこ・進藤風楓眞
やまぐち小児科・梅光学院幼稚園・(株)甲藤自動車工業・(株)テッシン川口・岡耳鼻咽喉科医院・香川敦子
合同会社K.G.W.プログレス・出会いの森・(株)日本マネジメント協会・(株)ジャパン特殊・(株)松岡・岡田圭子
落合保宣・稲永祐二・中村優太・国際ソロプチミスト海峡下関・(株)フタバ工芸社・岡田理・村上潔・匿名希望

編集後記

今号は新しい体制になった二つの生活介護サービス事業所の日中活動の様子を報告させていただきました。
新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、皆様に足を運んでいただける日が一日も早くくることを願っています。

令和2年度 社会福祉法人じねんじょ決算報告書

資金収支計算書

事業活動収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

第1号の1様式 単位(円)

第2号の1様式 単位(円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	障害福祉サービス等事業収入	173,989,000	175,759,947	△ 1,770,947
	借入金利息補助金収入	40,000	37,500	2,500
	経常経費寄付金収入	730,000	729,000	1,000
	受取利息配当金収入	9,000	9,013	△ 13
	その他の収入	2,077,000	2,159,411	△ 82,411
	事業活動収入計(1)	176,845,000	178,694,871	△ 1,849,871
	支出			
	人件費支出	125,330,000	127,586,335	△ 2,256,335
	事業費支出	15,282,000	15,833,433	△ 551,433
施設整備等による収支	事務費支出	21,279,950	23,768,553	△ 2,488,603
	支払利息支出	137,000	144,218	△ 7,218
	その他の支出			0
	事業活動支出計(2)	162,028,950	167,332,539	△ 5,303,589
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	14,816,050	11,362,332	3,453,718
	収入			
	施設整備等補助金収入	3,190,000	3,199,350	△ 9,350
	施設整備等寄付金収入	38,000,000	39,436,316	△ 1,436,316
	設備資金借入金収入	30,000,000	30,000,000	0
	施設整備等収入計(4)	71,190,000	72,635,666	△ 1,445,666
	支出			
	施設整備借入金元金償還支出	3,360,000	3,362,000	△ 2,000
	固定資産取得支出	148,170,000	131,685,500	16,484,500
	施設整備等支出計(5)	151,530,000	135,047,500	16,482,500
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 80,340,000	△ 62,411,834	△ 17,928,166
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	540,000	539,386	614
	その他の活動収入計(7)	540,000	539,386	614
	支出			
	積立資産支出	1,202,000	1,192,828	9,172
	その他の活動支出計(8)	1,202,000	1,192,828	9,172
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 662,000	△ 653,442	△ 8,558
	予備費(10)	0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 66,185,950	△ 51,702,944	△ 14,483,006

前期末支払資金残高(12)		120,999,773	△ 120,999,773
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 66,185,950	69,296,829	△ 135,482,779

勘定科目		本年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	障害福祉サービス等事業収益	175,759,947	167,716,582	8,043,365
	経常経費寄付金収益	729,000	3,277,200	△ 2,548,200
	その他の収益			0
	サービス活動収益計(1)	176,488,947	170,993,782	5,495,165
	費用			
	人件費	128,239,777	128,575,191	△ 335,414
	事業費	15,833,433	14,477,060	1,356,373
	事務費	23,768,553	22,375,661	1,392,892
	減価償却費	6,122,278	7,606,178	△ 1,483,900
サービス活動増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 2,329,372	2,329,372
	サービス活動費用計(2)	173,964,041	170,704,718	3,259,323
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,524,906	289,064	2,235,842
	収益			
	借入金利息補助金収益	37,500	46,800	△ 9,300
	受取利息配当金収益	9,013	12,186	△ 3,173
	その他のサービス活動外収益	2,159,411	749,025	1,410,386
	サービス活動外収益計(4)	2,205,924	808,011	1,397,913
	費用			
	支払利息	144,218	165,617	△ 21,399
特別増減の部	サービス活動外費用計(5)	144,218	165,617	△ 21,399
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,061,706	642,394	1,419,312
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,586,612	931,458	3,655,154
	収益			
	施設整備等補助金収益	3,199,350	639,350	2,560,000
	施設整備等寄附金収益	39,436,316	0	39,436,316
	特別収益計(8)	42,635,666	639,350	41,996,316
	費用			
	固定資産売却損・処分損	4	638,918	△ 638,914
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2,329,372	△ 196,726	△ 2,132,646
繰越活動増減差額の部	国庫補助金等特別積立金積立額	2,560,000	0	2,560,000
	特別費用計(9)	230,632	442,192	△ 211,560
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	42,405,034	197,158	42,207,876
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	46,991,646	1,128,616	45,863,030
	前期繰越活動増減差額(12)	173,084,132	171,955,516	1,128,616
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	220,075,778	173,084,132	46,991,646
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	220,075,778	173,084,132	46,991,646

貸借対照表

令和3年3月31日現在

第3号の1様式 単位(円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	77,742,051	125,710,565	△ 47,968,514	流動負債	13,811,222	8,072,792	5,738,430
現金預金	48,246,461	97,445,086	△ 49,198,625	事業未払金	7,193,962	3,316,679	3,877,283
事業未収金	28,564,710	27,717,087	847,623	1年以内返済予定設備資金借入金	5,366,000	3,362,000	2,004,000
立替金	4,400	149,412	△ 145,012	預り金	13,987	20,675	△ 6,688
前払金	423,260	398,980	24,280	職員預り金	1,169,424	1,166,179	3,245
前払費用	503,220	0	503,220	仮受金	67,849	207,259	△ 139,410
固定資産	341,134,196	215,094,707	126,039,489	固定負債	47,154,743	22,044,472	25,110,271
基本財産	222,182,226	100,307,235	121,874,991	設備資金借入金	39,112,000	14,478,000	24,634,000
土地	23,954,700	23,954,700	0	退職給与引当金	8,042,743	7,566,472	476,271
建物	188,227,526	66,352,535	121,874,991	負債の部合計	60,965,965	30,117,264	30,848,701
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	118,951,970	114,787,472	4,164,498	基本金	51,673,943	51,673,943	0
土地	56,252,000	56,252,000	0	第1号基本金	47,613,000	47,613,000	0
建物附属設備	11,043,655	11,871,644	△ 827,989	第3号基本金	4,060,943	4,060,943	0
機械及び装置	193,800	193,800	0	国庫補助金等特別積立金	55,460,561	55,229,933	230,628
車輛運搬具	5,875,254	4,023,125	1,852,129	その他の積立金	30,700,000	30,700,000	0
器具及び備品	6,422,098	3,758,011	2,664,087	設備等整備積立金	30,700,000	30,700,000	0
権利	357,420	357,420	0	次期繰越活動増減差額	220,075,778	173,084,132	46,991,646
退職給付引当資産	8,042,743	7,566,472	476,271	(うち当期活動増減差額)	46,991,646	1,128,616	45,863,030
設備等整備積立資産	30,700,000	30,700,000	0	純資産の部合計	357,910,282	310,688,008	47,222,274
差入保証金	65,000	65,000	0	負債及び純資産の部合計	418,876,247	340,805,272	78,070,975
資産の部合計	418,876,247	340,805,272	78,070,975				

※社会福祉法人じねんじょホームページ「情報公開」に掲載しています。